

ニュージーランドへ行ってきました！〜平成28年度中学生海外派遣事業報告〜

17日(水)NZへ出発

いよいよ出発の日です。壮行式では生徒代表の浜田健成さんが決意表明を述べ、気持ちを引き締めました。

町長からは激励の言葉をいただき、見識を深め、広く異文化を体験するため出発です。高知龍馬空港から羽田空港を経由し、成田空港から11時間のフライト。明日の朝はNZです！



19日(金)ホームステイ開始

夕刻、ハミルトン市にあるフェアフィールド中学校に到着。現地の生徒やホストファミリーと対面し、この日からホームステイが始まります。引率者は近くのホテルに泊まるので月曜日まで生徒に会えません。みんな緊張気味の表情で心配でした。



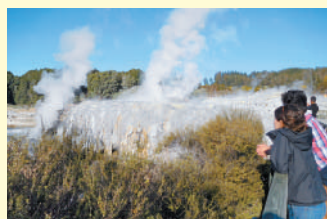
20日(土)〜21日(日)ホストファミリーとの週末

週末、生徒はそれぞれのホストファミリーと過ごしました。ショッピングセンターに行ったり、スポーツ観戦をしたりと、いろいろなところへ行ったようでした。

18日(木)ロトルア観光

翌朝8時15分、定刻通りオークランド空港に到着しました。専用バスでロトルア市に移動し、レインボー

スプリングスで巨大なマスや20メートルを超える大きなシダなど、NZにしか生育しない珍しい動植物を見ることができました。また、マオリ村では先住民マオリ族の暮らしを再現した集落や岩の間から吹き上がる間欠泉を見学しました。



22日(月)学校訪問1日目

朝、生徒たちはホストファミリーと一緒に元気に登校してきました。もう打ち解けている様子でした。

学校訪問初日となるこの日は、クラスで挨拶をし、黒潮町のよさこいソーラン踊りを披露し、派遣団はNZ生徒によさこいソーラン踊りを、逆にNZの生徒はマオリダンス(ハカダンス)をお互いに教え合いました。



中学生海外派遣事業は黒潮町となってからは11回目となります。今回の研修日程は8月17〜27日の間で、厳しい選考試験を突破した町内の中学生12人と引率者4人の総勢16人がニュージーランド(以下NZ)へ海外研修に行ってきました。

この研修の目的は海外でのさまざまな体験を通じ異文化への理解と関心を深め、語学力を養い国際感覚を磨くことです。

主要となる事業はNZの北島にあるハミルトン市のフェアフィールド中学校での生活とホームステイ体験で、その前後にロトルアやオークランドの市内観光を含む11日間です。

紙面を借りて、現地での様子を報告いたします。

ハミルトン市はオークランドよりバスで2時間ほどのところにあるワイカト地方で1番大きく、緑豊かな街(人口約19万人)です。年間を通して比較的気候が安定し、現地は冬季にもかかわらず、10度〜15度前後と過ごしやすく、市内には国際大学のワイカト大学もあり、世界各地からの留学生も多く、先住民のマオリ村もあったことから他民族・異文化が感じられる街です。

今回は、長年交流があるフェアフィールド中学校でさまざまな体験と交流をしてきました。

授業内容もNZならではのマオリ文化や英語の他、クッキング、アート、体育などを現地の生徒と一緒に受けました。時には、校外特別授業として、ミュージカル見学や日本で言う陶芸にもチャレンジしました。

フェアフィールド中学校は全校生徒約650人で20カ国を超える国から多くの留学生を受け入れ、国際性が豊かな学校です。広々とした校庭は芝生で覆われ、落ち着いた環境となっています。敷地内には、先住民マオリ族の集会所を再現した建物があり、伝統的な踊りや歌で歓迎を受けました。お礼に、夏休み返上で練習したよさこいソーランを披露し、生徒同士の交流の輪が広がっていました。

23日(火) 学校訪問2日目

この日は陶器のプレート作りやボイという伝統品を作りました。陶器のプレートは9月にNZ訪問団がそれぞれの生徒の分を持ってきてくれました。



最後の日は、夕方からのお別れパーティーのために、お菓子のカップケーキをたくさん作りました。お別れパーティーの時には、夏休み中に黒潮町で練習してきたよさこい踊りや黒潮町の紹介をあらためてNZ生徒、保護者の前で披露しました。



24日(水) 学校訪問3日目

3日間の学校訪問では、戸惑いや緊張も当初はあったようですが、年齢も近いせい、スムーズに溶け込み授業を楽しんでいました。最終日には、今秋、来町する生徒やその関係者の前で黒潮町の紹介ビデオを英語で発表し、皆さんが興味関心をもって聞いたように感じました。

そして、もう1つの主要事業のホームステイでは、土、日の休みを含む、6日間の日程となりました。引率者や他の生徒から離れ、初めて自分が試される貴重な生活体験です。

慣れない海外での生活と慣習、そして、英語での会話など、戸惑いや苦労も多く、自分自身が試された貴重な時間となったことでしょう。言葉は十分通じなくても、何より、人の温かさや気持ちは垣根を越えて理解できたのではないかと思います。

この体験が生徒1人1人の自信と財産となり、今後の中学校生活や後の人生にも必ず役立つものだと思っています。

ホームステイの他にもロトルアでのアクティビティや戦争博物館の見学、オークランドでの市内観光など異文化を感じる充実した毎日でした。

私自身、15年ぶりで2回目の訪問となりました。肥沃な大地に育つシダや巨大な赤松と珍しい植物、キウイに代表される珍しい固有の鳥など、NZの自然の豊かさと水や太陽光などの資源を大切にしている環境行政、地形を活かした道路交差点ラウンドアバウトなど、違う角度で研鑽を深めることができました。

また、別の教育現場の小学校では、幼少期から自立を促進する工具を使ったカリキュラムや、植物の香りや生育観察の授業など、五感を研ぎ澄ます柔軟な教育現場を知る機会もあり参考になりました。

NZの人々の優しさと温かさに感謝するとともに、国際社会の中で育つ子どもたちの為に、この海外派遣事業がさらに促進され、黒潮町の発展と人材育成に今後も効果が発現されることを強く願っています。

今回の派遣事業で得た体験を今後の行政運営や人生に活かしていければと考えています。

(NZ派遣団長・建設課長 今西文明)

25日(木) 涙のお別れ

朝、生徒たちはホストファミリーに見送られ、専用バスにてオークランドへ向け出発。みんなとハグをし、別れを惜しみました。

オークランドではハーバーブリッジのスカイタワーや博物館の見学、ショッピングを楽しみました。



27日(土) 久しぶりの黒潮町へ

前日、成田空港近くのホテルに宿泊した派遣団は、羽田空港へ移動し高知龍馬空港へ。町のバスに揺られ黒潮町に無事到着しました。副代表の入野永捺さんによる帰国の言葉で、研修を締めくくりました。



この研修は、6月の選考により12人の生徒が選ばれたのですが、例年応募人数も増えています。

残念ながら選考されなかった生徒もいることを忘れずに取り組むように引率者、担当者ともども夏休み中の事前準備の段階から派遣生徒と接してきました。

派遣生徒は、事前準備にも熱心に取り組む、不安と期待が入り混じった様子で出発しましたが、帰国時にはたくましく成長した顔つきで帰ってきました。今後ニュージーランド・ウエアフィールド中学校との縁を大切にこの事業に取り組んでいきます。

(NZ海外派遣担当 教育委員会生涯学習係)

佐賀中学校 岩本 祐人

NZに研修に行って、1番感じたのは人の温かさです。

今まで外国に行ったこともなかったし、テレビとかを見ていると優しいなと思えるのは日本人だなと思っていました。

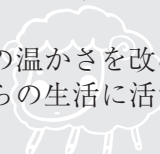
しかし、いざNZに行ってみると、それは間違っていたことに気づきました。

もっともそれを強く感じたのは、ホームステイをした時です。ステイ先の家では、休日はワイトモ湖くつや「ホビット族」の撮影場所などに連れて行ってくれ、貴重な体験をすることができました。

また、ジェスチャーを交えて話をするので、自分の伝えたいことも伝えることができました。

僕が分からない言葉を一生けん命伝えようとしてくれて、とてもうれしかったです。

今回の研修で、英語の楽しさと人の温かさを改めて感じました。この経験を、これからの生活に活かしていきたいです。

**大方中学校 山本 創灯**

僕は夏休みの終わりの11日間、NZ研修に参加しました。事前学習の時は向こうのことを知っていくうちにどんどん楽しみになっていっていましたが、出発の時には日本とは違った文化や風習を体感できるという喜びと言語が違うことに対する不安が入り混じっていました。

だけどホストファミリーの人と一緒に遊んだりしてどんどん打ち解けていくことができとても楽しく過ごすことができました。また言語の違いに対しても、こっちが1回で聞き取れなかったりしても優しく接してくれたりしてとても嬉しかったです。

ホストファミリーと別れる時、ホームステイした期間がとても短く感じ、寂しくなりました。

僕は今回、とても貴重な体験ができたと思うので、しっかりとこれからの生活に活かしていきたいです。

大方中学校 入野 永捺

NZにホームステイに行く前は、どうなるか少し心配だったけど、いざ話してみると、緊張がほぐれてすごく楽しかったです。会話が續くと楽しいし、自分の言っていることに反応してくれるのが嬉しかったです。

NZは自然いっぱい、とても住みやすそうだと思います。ホストファミリーも優しく、私のことを楽しませてくれました。初めての経験で、上手く出来るか分からなかったけど、気持ちは通じ合えたのではないかと思います。

でも、相手の言っていることがわからない時はとても悔しかったです。だから、自分の英語力をもっと上げて、将来もう一度NZへ行きたいと思いました。

自分にとって、NZでのホームステイは、大切な第一歩だと思いました。

**大方中学校 上岡 みこと**

私のNZ研修は緊張とワクワクする気持ちでいっぱいなのなかはじまりました。

観光も楽しかったし、発見したこともたくさんあったけど、1番「NZに来た!」と感じたのはやっぱりホームステイでした。

ホームステイは、文化や習慣の違いを1番近く見ることのできる場でした。

さらに、自分の力だけでコミュニケーションをとることで自分の力量をはかることができました。

それと同時にホストファミリーの温かさを感じました。例えば、私にハプニングが起こった時も、「大丈夫、大丈夫」と言ってくれたおかげでショックも少しですんだし、冗談を言うほど気軽に声をかけてくれて楽しい毎日を過ごすことができてとてもうれしかったし、感謝しています。

短い間だったけど、得るものはたくさんありました。なので後輩たちにもぜひすすんで参加して欲しいと思いました。

大方中学校 小松 詩歩

私は夏休みの最後に佐賀と大方の中学生計12人でNZに行きました。事前学習の時から不安で現地に行って本当に話せるか不安で仕方ありませんでした。でも、NZについてみるとホストファミリーの人たちもおどおどしている私に簡単な英語で話してくれて、とても楽しく会話することができました。

そして、10日間という短い時間はあっという間で「日本に帰りたくない」と思ったほどでした。

今回のNZ研修で、たとえ話す言語が違ってても、住んでいる場所が違ってても、優しさは一緒なんだなとすごく思いました。いつも、「大丈夫?」と声をかけてくれて、本当の家族のように接してくれたのがとても嬉しかったです。また、NZの子がきた時には恩返しができるようにしたいと思います。

大方中学校 友永 杏慈

今回、ニュージーランド派遣団としてこの短期語学研修に参加させていただいたことを本当に嬉しく思っています。

自分自身の将来の目標が英語圏の国へ行くことだったので、このような形で目標だった国へ行けて、とても良い経験になりました。

実際に現地で過ごすことで、NZと日本の両方の良さを感じることができました。また、自分の英語力の未熟さや、積極的な考えの大切さなど、NZへ行ったからこそ気づけたことがたくさんありました。

今回の事業で得たたくさんの良い経験を最大限に活かし、この短期語学研修が自分を成長させられるきっかけになるよう頑張りたいです。

佐賀中学校 浜田 健成

今回の研修で、1番印象深かったことは、NZの先生はみんな「教師」という仕事を楽しんでいたことです。とても感動し、将来NZで働きたい!と思いました。NZに滞在中に、いろいろな職業の人を見ることができましたが、やっぱり先生の仕事が1番楽しそうに見えました。

ホームステイでは、とてもいい家庭で、本当に楽しい毎日を過ごせました。ステイ中に一番うれしかったことは、自分の英語が通じ、会話が成り立ったことです。伝わった時は、本当にうれしかったです。

また、学校訪問では、みんなフレンドリーで、すごく楽しい授業を受けることができました。

今回の研修で、たくさんのことを学ぶことができ、本当に楽しい時間を過ごすことができました。将来のことについて考える時にもすごく役立ちました。このような機会を与えて頂き、本当にありがとうございました。

大方中学校 板山 太陽

僕は、このNZへの海外派遣を通して、文化の違いやいろいろなことを学びました。やはりいちばんの成果は、自分の話す英語に自信が持てたことです。NZに行くまでは、外国人とは話したくないと思っていたけど、NZに行って、自分の英語が通じたことでとても自信が持てました。今回の海外派遣で何と言っているかわからなかった言葉や通じなかった言葉などをこれから勉強して、無くしていきたいと思います。

そして、英会話をいろんな人としていきたいと思いました。会話をすることで、英語のレベルが上がると思うので、積極的に会話をしていきたいです。

そして、最終的には、英語にたずさわる仕事につきたいと思いました。

佐賀中学校 藤原 功丞

僕は、8月17日から8月27日までの11日間、NZへ初めて行きました。1度インドネシアのバリ島へ行ったことはあるけど、その時は家族がいたので、今回は少し心細かったです。でも、NZの人はみんな温かく迎えてくれ、すぐに溶け込むことができました。ホストファミリーのお父さんは南アフリカでテレビの取材を行っていて、お姉ちゃん是一人暮らしなのでお母さんとホストファミリーの子と僕の3人と、犬が1匹でした。お母さんは英語をゆっくり話してくれ、その子はけん玉やゲームに誘ってくれました。

フェアフィールド中学校で1番楽しかったのは、みんなでハカとよさこいを踊ったことです。分からない英語もありましたが、真剣にハカを覚えました。またあのメンバーで踊りたいです。

僕はこの10日間で、積極的に行動することを学びました。これからは、初めてのことでなくてもチャレンジしていきたいと思います。

佐賀中学校 森田 千尋

私はNZへ行って、一生忘れたくない思い出をたくさん作ることができました。NZで過ごしてみて、一番思ったことは自然がとても豊かで人々がとても優しいなと思いました。移動中のバスの中から外を見ると、牧場がたくさんあって羊や牛などがたくさんいてとても可愛いなと思いました。学校訪問では、私と会うのは初めてなのにみんな「Hi!」と声をかけてくれたり話しかけてくれました。

私のステイ先でも、休日はいろいろなところに連れて行ってくれたり、NZの食べ物を紹介してくれたり、美味しいご飯を作ってくれたりしてくれました。それに、学校の人たちやステイ先の人たちは、私たちの言っている英語を一生けん命理解しようとしてくれました。

とても嬉しかったです。別れの時はとても寂しくなりました。この人達と会えてほんとうに良かったです。これからはもっと英語を勉強してもう一度NZへ行きたいです。

大方中学校 大西 結菜

初めてのホームステイで不安と緊張でいっぱいでした。でも、接していくうちに最初にあった不安と緊張もいつの間にか消えていました。慣れると、6日間という期間は短く感じました。

中学校訪問の時は、ホストファミリーの方が案内してくれました。最初に見たショーはみんな演技がすごく上手で表現もわかりやすく面白かったです。

NZの編み物体験では、魚やふせんを作りました。どれもきれいな仕上がりですごく良かったです。

文化の違いは体験してすごく分かりました。最初、靴で家の中に入るという行動に驚きました。知ってはいたけど、自分自身が体験することができて良かったです。それと、ナイフとフォークを使って食べるというのも、最初、使いにくかったけど使っているうちに慣れてきました。文化の違いを勉強できて良かったです。

佐賀中学校 浜岡 穂来

8月17日から27日の10日間、NZへ研修に行ってきました。私は日本にいたとき、大丈夫だろうと思っていましたが、ホームステイ先であまり英語を話せませんでした。発音がぜんぜん違うことにすごく不安になったし、自分の英語は通じないと思っていたけど、ホストファミリーの方たちはゆっくり簡単に話してくれて、とても安心して生活することができました。NZはとても平野が多くて毎日牛や羊を見ることができたり、ずっと見たかったキウイも見ることができました。たくさんの動物がいて楽しかったし素敵な所だなと思いました。学校訪問は、生徒はみんなフレンドリーでたくさん話しをしてくれたことが1番うれしかったです。たくさん友だちもできて楽しかったです。約7日間くらいの間、英語が普通な生活をしてみて、初日より、聞いて理解したり話すことがとても楽しかったです。将来英語を話せる職業になれるよう、もっと勉強したいです。